

-平成29年度 三次郷心会 役員会・交流会開催-

本年度の第2回役員会が、11月27日(月)、三次グランドホテルにて開催されました。交流会には市長代理 産業環境部 日野部長、下森県議会議員秘書 阿保国夫様、三次市議会 新家副議長、細川会頭も加わり、28名の出席者のもと開催されました。

役員会では、平成29年度事業経過報告と中間収支報告、および平成29年度下期活動案が承認されました。交流会では、御来賓の挨拶の後、細川会頭による乾杯のご発声で始まり、あちこちで活発な歓談が交わされ、大変盛り上がっていました。

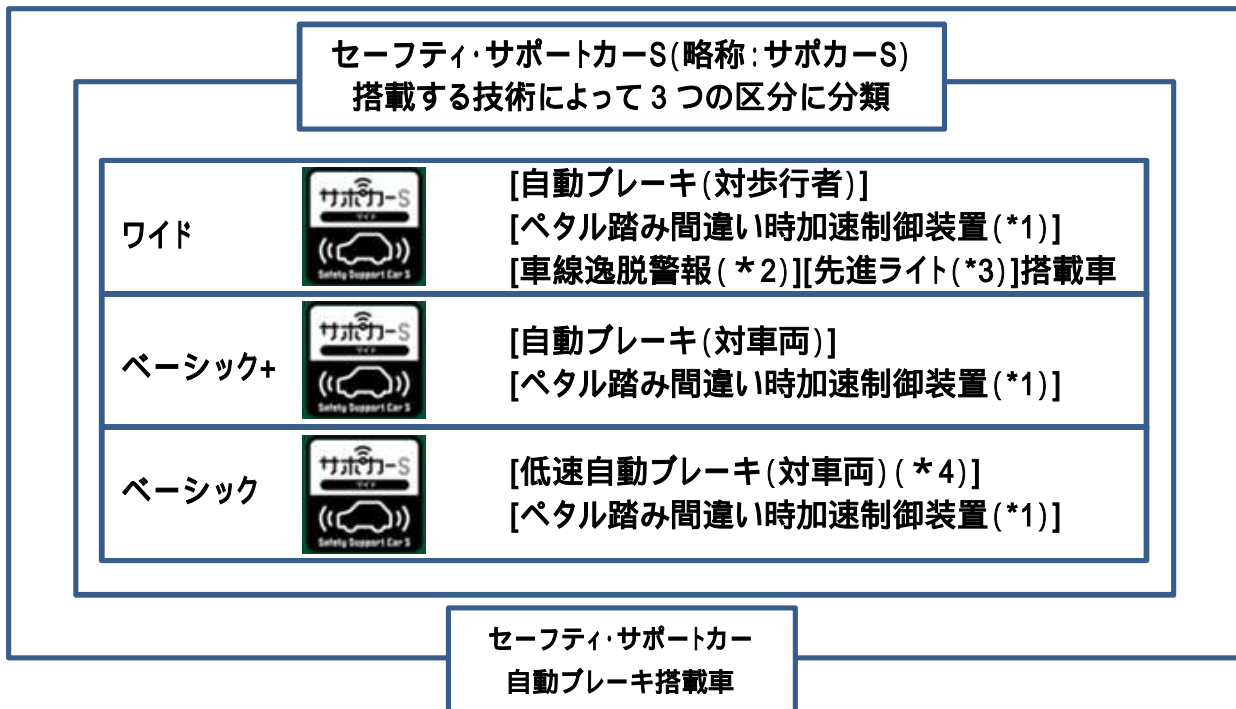
諸般のご事情で今回欠席となられた役員様には、次回は是非とも出席されますよう、お願い致します。



-国が進める自動車安全コンセプト「サポカーS」ワイドへのマツダ車対応状況-

経済産業省や国土交通省などが推奨する新しい自動車安全コンセプト「セーフティ・サポートカーS」(略称:サポカーS)をご存知ですか。マツダ車は、**デミオ、アクセラ、アテンザ、CX-3、CX-5、CX-8**には、「ワイド」に該当するための先進安全技術を全グレードで標準装備しています。

-安全運転サポート車と区分-



*1 マニュアル車は除く。

*2 車線維持装置でも可。

*3 自動切替型前照灯、自動防眩型前照灯または配光可変型前照灯をいう。

*4 作動速度域が時速30km以下のもの。

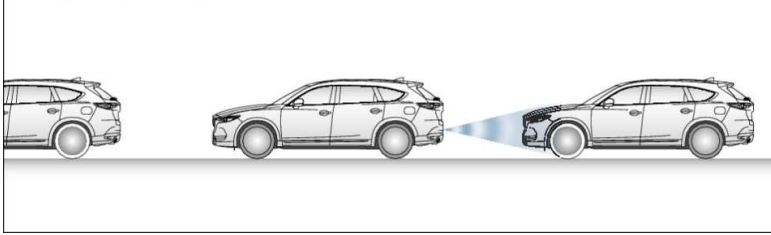
平成27年度の自車が加害者となる事故の衝突部位(死亡/重傷事故割合)は、前部が79%と圧倒的に多い。

また、平成22~27年に起きたアクセル/ブレーキペダル踏み間違い事故件数は、年齢別に29才以下、70才以上共に、約10,000件、60才代約、6,000件の順になっています。

* 公益財団法人 交通事故総合分析センター(ITARDA)の交通事故統計データより。

< サポカーS 採用技術概要 >

■SCBS Rイメージ図



アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS)

前方の歩行者や先行車をカメラで検知し(対車両:約 4~80 km/h走行時、対歩行者:約 10~80 km/h走行時)、ブレーキを自動制御して衝突回避のサポート、または衝突被害の軽減を図ります。

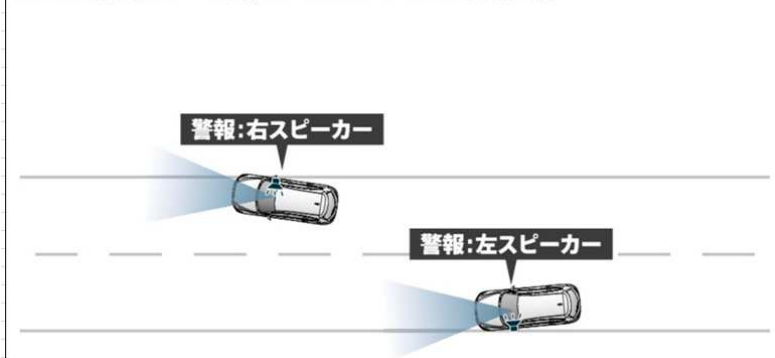
■AT誤発進抑制制御[前進時]イメージ図



AT 誤発進抑制制御[前進時]

停車時や徐行での前進時に、前方に障害物があるにも関わらずアクセルが一定以上踏み込まれた場合には、警報と同時にエンジン出力を抑えて急発進を制御します。

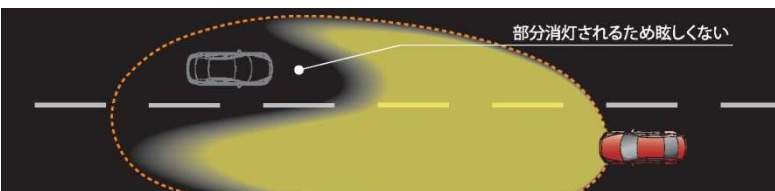
■LDWS作動イメージ図(ランブルストリップス音選択時)



車線逸脱警報システム(LDWS)

フロントガラスに設置したカメラで車線を認識し、車両がその線を踏み越える可能性があるると判断すると、ドライバーに注意を促します。

* アクセルやウインカーなどの操作から意図的な運転と推定される場合は不要な警報を発しないよう工夫しています。



【先進ライト】ハイビーム・コントロール・システム (HBC)

約 30 km/h以上で走行中、対向車や先行車がない場合には上向きに切り替わり、ハイビームでの走行機会を増やすことで、夜間の前方視界確保をサポートします。

危険な状況に陥ってから対処するのではなく、危険事態を回避する。それがマツダの安全思想、“MAZDA PROACTIVE SAFETY”です。さまざまな運転環境で、ドライバーの認知・判断・操作をサポートし、事故のリスクを最小限に抑えます。

-新会員様ご紹介のお願い-

三次郷心会では郷心会活動の一層の前進を目指し、新会員を募集しております。ご紹介いただける場合、気軽に三次郷心会事務局までご連絡ください。

郷心会の本年度のスローガン

広めよう郷心会の和

- ・郷心会の活動にもっとみなさん参加しよう。
- ・会員同士の繋がりをもっと強化していこう。
- ・郷心会の活動をもっと地域に発信しよう

本紙に関してのお問合せ、またご意見等は、下記宛にお願いします。

三次郷心会 事務局 西、上馬場 まで 〒728-0021 三次市三次町 1843-1 三次商工会議所ビル内

TEL:0824-63-0673 FAX:0824-63-3064 e-mail: nishi.t@mazda.co.jp